

## 市立小中学校におけるスマホアプリを利用した欠席連絡などのICT化における運用方式の比較表

	現行(終了予定)	執行部案	仮に本市公式ラインに機能付加した場合
費用	無料	264万円	255万円 (オプション追加で292万円)
アプリの種類	専用アプリ	専用アプリ	LINE
導入の範囲	小中学校の裁量で導入	全小中学校	全小中学校
入学前の保護者(約95%) のアプリ利用経験	なし 新規ダウンロード	なし 新規ダウンロード	あり 友達登録するのみ
保護者の連絡の負担軽減、 即時性	導入小中学校の保護者 のみ享受	保護者が新たに操作を 覚える必要性	使い慣れたアプリで親和性 が高い
子育て世代の公式ライン 登録者	約37,000人	約37,000人	約56,000人 (以降毎年2,000人ずつ増)
子育て世代の公式ライン 導入率	約31%	約31%	約47% (以降毎年1.5%ずつ増)
受け取る情報の範囲	学校提供分のみ	学校提供分のみ	学校提供＋市全体
本市の広報戦略・防災 戦略への貢献	効果なし 登録者増へは別途努力	効果なし 登録者増へは別途努力	導入割合が低い子育て 世代を自動的に底上げ